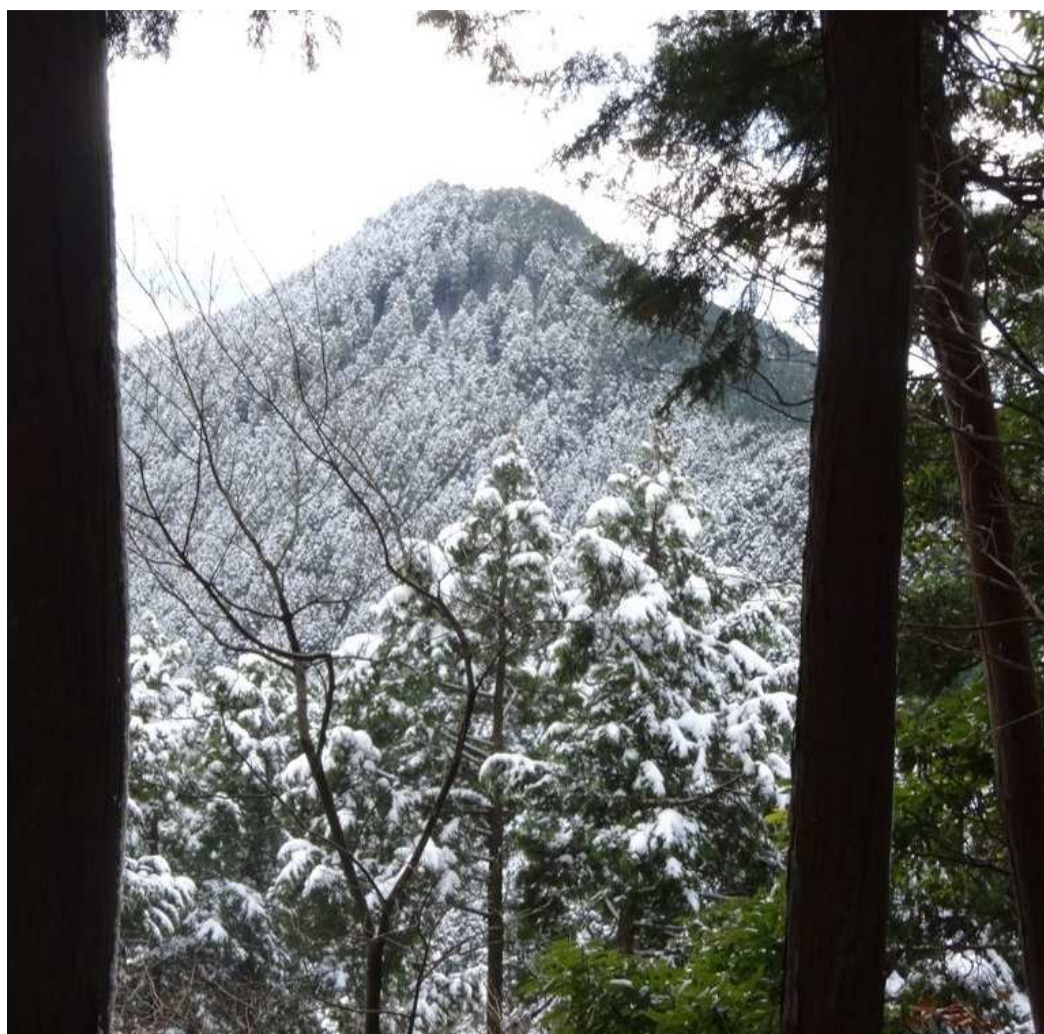


西大和つうしん

2015年 1月号

No.391



冠雪した熊ヶ岳

12月7日例会山行：宇陀・音羽三山

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第391号(2015年1月号)

【目次】

1 月度山行計画.....	1
1 月度・2 月度カレンダー.....	2
山行・行事等参加メモ.....	3
山行報告	
・例会山行1 《11月23日》 紀泉の山 龍門山(杉村).....	4
・県連登山学校訓練山行 《11月28-29日》 台高の山 高見山北尾根(今井).....	5
・例会山行1 《12月7日》 宇陀の山 音羽三山(龍山・松ヶ崎・龍高).....	6
・県連登山学校訓練山行 《12月7日》 六甲の山 地獄谷～ピラロック(今井).....	7
・例会山行2 《12月14日》 京都の道 京都トレイル・東山コース(杉川)....	8
室内例会だより(11/26).....	9

1 月度山行計画

～アルペン気分が味わえる長峰山～

◆1月4日(日)：例会山行1◆播磨《長峰山》

〔L：島崎 / 緊連：都築〕

【集合】JR王寺駅 8：00 (王寺 8:08 発＝阪急六甲 9:28 着)

【コース】阪急六甲駅(9:45 発)～登山口(10:30)～長峰山(12:00/40)～杣谷峠(13:20)～長峰堰堤(14:35)～阪急六甲駅(15:00 着)
(阪急六甲 15:19 発＝王寺 16:32 着)

～雪を踏みしめて琵琶湖の大展望を！！～

◆1月18日(日)：例会山行2◆比良《堂満岳》

〔L：藤井 / 緊連：都築〕

【集合】JR王寺駅 6：55 (7:03 大阪行に乗車＝比良 8:58 着)

【コース】比良駅～(0:50)～イン谷口～(2:05)～金糞峠～(0:50)～堂満岳～(1:30)～ノタノホリ～(0:40)～イン谷口～(0:40)～比良駅

【歩行時間：約7時間】

～爽快な眺め、自然林の紀泉高原を歩く～

◆1月25日(日)：例会山行1◆紀泉アルプス《俎石山》

〔L：田中悦 / 緊連：島崎〕

【集合】上牧町役場前駐車場 7：00

【コース】大関橋駐車場～(20)～小川地蔵～(40)～見返り山～(20)～奥辺峠～(35)～大福山～(20)～俎石山～(30)～懺法岳～(15)～井関峠～(80)～大関橋駐車場

【歩行時間 約4時間30分】

西大和山の会 カレンダー

1 月		2 月	
1 木	初日の出山行(王寺町・明神山)	1 日	県連登山学校訓練山行(前日発の可能性あり)
2 金		2 月	
3 土	◆例会山行・麓・長峰山(島崎)	3 火	県連理事会(県連事務所 19:30)
4 日	◆例会山行・麓・長峰山(島崎)	4 水	
5 月		5 木	
6 火	県連理事会(県連事務所 19:30)	6 金	
7 水		7 土	県連主催山筋・テーパ操講習会(郡山市民交流会館 13:00)
8 木	県連登山学校・座学第9回(県連事務所 19:30)	8 日	◆例会山行・紀泉・岩湧山(多賀)
9 金		9 月	
10 土		10 火	
11 日		11 水	
12 月		12 木	
13 火		13 金	
14 水		14 土	
15 木		15 日	◆例会山行・台高・三峰山(今井)
16 金		16 月	
17 土		17 火	
18 日	◆例会山行・娘・堂満岳(藤井)	18 水	『西大和つうしん』3月号原稿締切
19 月		19 木	
20 火		20 金	
21 水	『西大和つうしん』2月号原稿締切	21 土	
22 木		22 日	◆例会山行・台高・高見山(辻)
23 金		23 月	
24 土	県連主催パドウォッチング(池部駅 9:00 集合)	24 火	
25 日	◆例会山行・線・俎石山(田中悦)	25 水	◆室内例会(事務所 19:30)
26 月		26 木	
27 火	県連救助隊総会(県連事務所 20:00)	27 金	
28 水	◆室内例会(事務所 19:30)	28 土	
29 木	県連登山学校・座学第10回(県連事務所 19:30)		
30 金			
31 土			

山行・行事等参加×ㇿ

		室内例会	室内例会	例会山行1	例会山行2	例会山行1	自主山行			
入会順		12/21 室内 例会	12/21 忘年 会	1/4 長峰 山	1/18 堂満 岳	1/25 俎石 山	12/23 矢頭 山			
1	(窪田)		○							
2	都築	○	○	緊	×緊	×				
3	藤井	○	○		○L	○	○			
4	(石田)									
5	多賀									
6	田中悦	○	○	○	×	○L車	○車			
7	島崎	○	○	○L	○	×緊	○L車			
8	田中初	○	○	○	×	○	○			
9	村田	○	○		×	○	○			
10	林	○	○	○	○	△				
11	辻	○	○		○	○車				
12	勝尾	○	○		○	○				
13	藤本	○	○		○	×				
14	杉村	○	○		×	○				
15	高橋	休 会 中								
16	玉越				○	○				
17	的場	○	○		○	×				
18	杉川	○	○		○	×				
19	阪口						○			
20	橋本	○	○	○	○	○	○			
21	今井	○	○		○	○	○			
22	亀高	○	○		○	○車	○車			
23	松浪									
24	亀井	○	○		○	○				
25	船江	○	○		×	×				
26	野路						○			
	合計	18	19	5	13	12+α	10			

例会山行 1

紀北の山：《龍門山》

【日 程】11月23日(日・祝)晴

【参加者】A班：L 杉村・田中・亀高・今井・阪口・勝尾・田中・島崎・亀井

B班：辻・藤井・多賀・的場・玉越・村田・橋本・林・船江

【コースタイム】田代 P(8:50)～ちりなし池(9:22)～田代峠(9:55)～磁石岩(10:30)～山頂(10:40/11:15)～明神岩(11:40)～下山(12:12)～田代 P(12:25)



今回は2班に分け約5分の差を付けてB班からスタートしました。紅葉も僅かに残っている田代登山口からいきなりの急坂を上りましたが里山を侮ってはいけません。やはり山はしんどいです。30分くらい歩くと小さい祠があり、ちりなし池への下りの道が付いていました。水のない池?がありました。春には池の周りには花が咲くと資料にありましたがどうなのでしょうね。

来た道まで上り返し、しばらく急坂を田代峠まで登りました。右に取り軽いアップダウンの道を進むと磁石岩に。やはり磁力が働いている・・・コンパスの方向は誤った北を示します。何故こんな岩がここにあるのか不思議・・・そこから15分も歩くと龍門山山頂に、A・B合流を少し早かったのですが昼食としました。

汗ばむぐらいのよい天気で展望もよく蛇行している紀ノ川、和泉葛城山など稜線が見えました。昼食時、ラジコンで紅葉を空中撮影されている方がおられたので、みんな楽しませていただきました。

山頂よりなだらかな下りを気持ちよく歩くと展望のよい蛇紋原、そして更に下ると大きな岩にクライミングの金具がついた明神岩に出ます。岩の上からはここも展望がよく紀ノ川の街がよくみえました。すぐ隣には、冷たい空気が出ている風穴があります。その後は雑木林の中をひたすら下山し中央ルート登山口に出て10分程歩き駐車場に着きました。

短いコースでしたがいつも通りのペースで歩きましたので時間が余りゆっくりとお買い物をして帰路に着きました。

(杉村 好子)



県連登山学校訓練山行（ルート・ファインディング）

台高の山：《高見山：北尾根》

【日 程】 11月28日（金）夜発～29日（土）

【参加者】 L〔講師〕 中武（奈良労山）・杉川・今井・郝（奈良労山）（4名）

【コース】 〈11月29日〉 登山口(9:30)～二股(10:15)～右股～P830
～△黒石山 915.2m (12:50/13:05)～登山口(15:30)



（1日目）22時30分に集合して幕営地に到着。4人でテント設営、テント設営にも慣れてきた。早速に地形図を前にルートの確認作業。ヘッドランプの明かりの中、白黒の地形図で講師のルートの注目すべき目標物の説明を聞くが、目の悪い私には白黒の地形図が見つらく難儀した。自分で用意した地形図と見比べ先輩に教えて頂きいくつかのルート候補を確認。山談議に盛り上がっていると雨がテントをたたき始めた。予報通りの雨の音をききながら就寝。

（2日目）朝、目覚めると予想に反し晴れていた。濡れたテントをたたみ登山口へ移動。登山口を入り林道を進み二股に着き、ルートファインディング開始。

まずは二股の確認。実際の尾根の形と地形図上の尾根の形の確認。地形図を見て実際の地形を思い浮かべられるようにならないといけないとの事。ここで候補ルートの中から右股ルートを選択。地形図とコンパスを片手に沢を遡上し尾根に上がる道を探す。上がったと思っていた雨が降り出す。沢を進み予定していた尾根取付き手前で地図には無い小さい滝が現れ予定の尾根よりもひとつ手前の尾根からトラバースする事にして取付く。が急登でしかも土が脆く足元が不安。切株や木の根をつかみながら登る事に必死でコンパスでの方向確認がおろそかになり方角がずれると講師より度々の指摘。急登で足元が崩れそうな不安定な場所で方角通りに進むのは大変。尾根に出て現在地を確認し確定しながら進み目標物とした三つの谷を確認するが二つしか見えず確認の為、先まで進んで三つ目を確認して二つの谷の確認位置まで戻る。講師のアドバイスで来た道に戻って三つの谷が見える位置を確認する。地形図と実際の地形を確認する時の立つ位置が大事な事を学ぶ。小さなピークでは行ったり来たり。隣の尾根の確認、尾根から見える谷の大きさ、谷の形、谷の数、距離、標高等々地形図と実際の形をひとつずつ三人で手分けしたり、待ってもらって地形図上に在るピークを確認しに先までいったりしながら現在地を常に確定しながら進む。が、中々難しく、幾度となく講師のアドバイスを受ける。確認作業を繰り返しながら予定したコースを講師、先輩お二人のお蔭で登山口まで無事にたどり着く事が出来、初めてのルートファインディングを終了できた。

地形図とコンパスが読めればどんな山へでも行け、それがいかに大事かを実感した山行だった。地形図とコンパスは常に携帯はしているが少しでも使えるようになりたいと思う。山行をいっそう楽しくする為に、安全にする為に！

（今井 雅代）

例会山行 1

宇陀の山：《音羽三山（音羽山・経ヶ塚山・熊ヶ岳）》

【日 程】12月7日（日）

【参加者】L 田中(悦)・SL 藤井・村田・田中(初)・杉村・橋本・亀高・松浪・亀井
(9名)【コースタイム】不動ノ滝 P(9:10)～観音寺(10:05)～展望所(10:45)～音羽山 851m(11:11)
～経ヶ塚山 889m(11:44/12:20 昼食)～熊ヶ岳 904m(13:07)～大峠(13:48)～
不動ノ滝 P(14:45)

本日の例会山行の行先が決まったのは11月26日の室内例会。11月初旬に紅葉山行を予定していた音羽三山だ。紅葉も見られないのになんかあと思いつながら参加することにしたが、前日までの冬型気圧配置による山沿いの降雪により、思いもせず美しい雪景色の初雪山行となった。

不動ノ滝前に車を停め、参道を観音寺へと歩を進める。観音寺では腰を掛けた尼さんのオブジェが置いてあり、一緒に写真撮影の後、登山道へ。ほどなく、展望所の方向を示す表示があり、そちらに進む。展望所からは奈良盆地の向こうにダイトシの山なみと、手前には大和三山が島のように見えた。展望所から音羽山へは直登できる近道が整備されており、30分もかからず雪景色の山頂に到着した。お昼には早いので経ヶ塚山へと向かう。経ヶ塚山までは風が出て少し寒かったが、山頂は風がなく穏やかで、同じルートで先行している5,6人のグループが食事中で、我々もここで昼食とした。食事後のコーヒーは体が温まる。



経ヶ塚山から熊ヶ岳への尾根筋は、葉の落ちた広葉樹の細枝に積もった雪やクリスマスツリーのデコレーションのような杉の樹上の白雪が美しい。時折、樹間から垣間見える熊ヶ岳はデコレーションケーキのチョコレートに散らした白糖のよう。熊ヶ岳山頂は本日の行程で最高の標高904m。結構寒く、気温は0度だった。山頂から大峠までの尾根筋は、美しい雪景色が続く。大峠からは出発点の不動ノ滝方面へと方向を変える。大峠からの下山道は幅広いコンクリート道で、アイゼンを着けるほどでもないが、時折凍った箇所や苔があり、滑りやすい。何度か滑ってしりもちをつきそうになりながらも3:00前には不動ノ滝に到着した。山上は雪が積もっていたにもかかわらず、

不動ノ滝は期待したほどの水量はなかった。

帰りは、JA 奈良が経営しているまほろばキッチンに立ち寄り、名々新鮮な野菜や果物、花の鉢植えなどの買い物を楽しみ、帰途についた。

(亀高 茂)

県連登山学校訓練山行（岩場・ガレ場歩き）

六甲の山：《地獄谷～ピラーロック》

【日 程】 12月7日（日）

【参加者】 L〔講師〕 中武（奈良労山）・藤本・杉川・今井（4名）

【コースタイム】 阪急芦屋川駅(8:54)～高座ノ滝(9:19/24)～地獄谷入口〔アイゼン装着等諸準備〕(9:26/54)～A 懸垂岩〔アイゼン前爪での岩場トラヴァース練習〕(11:25/48)～A 懸 B 懸尾根〔昼食〕(12:06/33)～〔狭窄ルートトラヴァース練習〕(12:42/13:14)～ピラー・ロック〔アイゼン・ピッケルトレーニング全般+グリセード練習〕(13:22/15:28)～高座ノ滝(16:05/07)～阪急芦屋川駅(16:35)

登山学校山行計画 5 回目。10 月に予定されていた岩場・ガレ場歩きは諸事情で延び延びになっていた。講師は蓬莱峡での訓練を予定されていたようだが 12 月の蓬莱峡は訓練の方々で一杯との事で地獄谷になった。

高座の滝を少し登り、地獄谷への標識をみて降りると 10 数名のパーティ。私達も早々に出発の準備。アイゼンを着け始めると、講師より「雪山設定で」の指示。ザックに腰かけ手袋を着けて改めてアイゼンをつける。着け難い。冬山では手袋を着けて如何に早くアイゼンを着けられるかが大事との事。ピッケルを持って地獄谷登山開始。アイゼンワークでは岩場での足の置き方、置く方向、前爪 2 本での登り方、前爪 2 本に全体重を掛けて岩場上がるのはかなり怖い、凍った岩場ならいっその恐怖心だろうと想像する。ピッケルの使い方では登下降時のブレード・ピックの向き、シュピツツェとピックに荷重する方法等。講師の丁寧な説明とお手本を見ながら一人ずつやってみる。を繰り返しながら地獄谷を登る。A 懸から B 懸の尾根では、高さ 1m 余り、道幅が片足を置ける程しかない所でピッケルを胸の前で横に持ち、シュピツツェを岩壁に突きながらの歩行練習。始めは怖々、アイゼンを引っ掛けないようにバランスを崩さないように気をつけながらゆっくり歩く。行ったり来たり、何回も繰り返す内、少しずつ要領が解り歩けるようになる。

午後はピラーロックのガレ場で雪山歩行の基本、フラットフィッティング、急斜面の歩き方、雪の軟らかい時、硬い時、ステップングやキックステップ、トラバースの時のピッケルの使い方等々教わる。最後はアイゼンを外してスタンディング・グリセードの練習。急斜面を足の裏を使って滑り降りる方法。急斜面の恐怖感に腰が引けて出来ず、何回も何回も繰り返し太腿が痛くなる程だったが最後まで講師の OK は貰えなかった。中々難しい技術だが是非、出来るようになりたいと思う。

（今井 雅代）



例会山行2

京都の道：《京都トレイル：東山コース》

【日 程】12月14日(日) 晴れ

【参加者】L 杉川・SL 今井・藤井・多賀・田中(悦)・田中(初)・村田・林・橋本・亀井・船江・野路(計12名)

【コースタイム】稲荷(9:00)～泉湧寺(10:20)～清水山(11:50)～昼食(12:30)～ねじりマンポ(14:00)～蹴上駅(14:10)



今回から京都トレイルを歩こうと思い伏見よりスタート。まずは伏見稲荷でお参りを済ませ出発。有名な千本鳥居をくぐる。なかなか圧巻。まずは分岐の四ツ辻へむかう。途中道を間違いつつも到着。京都市内がよく見える。いい天気である。

ここから伏見

稲荷より離れトレイルへ。

しかし歩きやすい。よく整備もされている。起伏も少なく歩きやすい。人気のトレイルである事を実感する。まあ、最初のコースを少し歩いただけですが・・・

しかしやはり京都はお寺が多い。さすがにみて回ると時間が無いので中へは入らない。また仏閣巡りもしたいなと思う。

途中、トレランの大会に遭遇し邪魔にならないように少しずつ進む。なんとか清水山へ到着し昼食。

山頂公園で京都市内の絶景を眺めねじりマンポへ到着。

確かにねじれている。面白い形である。



そして今日は蹴上駅まで。次回はここから歩こうと思います。

帰りは有志にて王寺でプチ忘年会。

たまにはこのようなゆっくりした山行もいいなと思いました。



(杉川 明裕)

室内例会だより

【日 時】2014年11月26日(水) 19:00~21:00 事務所

【出席者】島崎、林、杉村、藤本、多賀、村田、田中悦、田中初、藤井、辻、勝尾、玉越、阪口、橋本、今井、亀高、亀井、船江、野路、都築

1. 山行案内

- 12月 7日(日) 例会山行1 宇陀の山(音羽山~経方塚山) L 田中(悦)
- 12月14日(日) 例会山行2 京都の山(剱トビイロ・東山コース) L 杉川
- 12月23日(火祝) 自主山行 伊勢の山(矢頭山) L 島崎

2. 山行報告

- 10月26日(日) 例会山行2(登山バス) 県連交流山行
江若国境の山(三十三間山~轆轤山) C L・A班 L 藤本・S L 島崎、B班 L 今井・S L 玉越、C班 L 杉川・S L 阪口、西大和17名、他会17名 計34名
- 11月3日(月祝)~4日(火) 自主山行 鈴鹿の山(雨乞岳・竜ヶ岳) L 島崎 4名
- 11月8日(土) 自主訓練山行 県連登山学校OB・現役合同特別訓練山行
岩登り part3 京都北山《金毘羅山(北壁)》 L 中武(奈良労山)、杉川、今井、他会1名 計4名
- 11月16日(日) 例会山行2・公開山行 奈良中部《山の辺の道(北コース)》
L 林会員11名、一般5名 計16名

3. 連絡その他

- ・県連より報告

12月2日の理事会において、理事長、事務局長、会計の主要ポストの選出方法を決定する。

女性委員会 山筋ゴーゴー体操基本講習会 2015年2月7日(土) 13:00~

・夏山山行については、候補地を3つ選んで11月29日までに島崎会長と事務局(都築)まで報告。運営委員会で検討する。

- ・12月21日忘年会(現在18名参加予定) 魚八 会費4,000円
室内例会 15:00~(運営委員は14:30~)
- ・11月30日(日) 14:00~運営委員会
- ・野路政子さんが入会されました。よろしくお願いします。

(都築 周作)

西大和つうしん

第391号(2015年1月号)

2014年12月21日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 藤本武司

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<http://www.nishiyamatoyama.org/>